

## 相談支援部会 報告書

会議名	第1回 相談支援部会		
開催日時	令和4年6月30日(木) 10時~12時		
開催場所	板橋区役所 北館 11階 第一委員会室		
出席者数	18名(欠席1名)	傍聴者数	2名

### 報告事項(3件)

議題名	令和4年度 板橋区基幹相談支援センターの取り組み
概要	令和4年度の基幹相談支援センターの事業内容、地域生活支援拠点等における事業内容について、報告した。
主な意見・回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別勉強会の階層別とは、どのような意味合いか。 →専門員の階層のこと。現在の初任者、現任者という階層別で、勉強会を実施している。</li> <li>・令和3年度 短期入所の社会資源マップについて。今後、人数、状況等が変わると思うが、適宜更新されるという解釈でよいか。 →短期入所については2年に1回と考えている。1年に1度、変更があるかどうか、事業所に確認の案内を送付する予定。</li> <li>・基幹相談支援センターの事業内容に、住宅相談の枠を作っていただきたい。障がい者が地域で暮らしていくには、不動産との連携が必要。 →住宅相談まで基幹相談支援センターで取りまとめるのは、手が及ばないと思う。</li> <li>→区に居住支援協議会がある。住宅探しについての困りごとは共通のため、居住支援協議会での情報を共有する。</li> </ul>
今後の方向性	令和4年度の取り組み内容について、実施報告する。

議題名	計画相談支援・障がい児相談支援の充実について
概要	セルフプラン利用者等が計画相談支援に関心をもってもらう機会の創出について、「(仮称) 計画相談支援 出張 説明会」を提案した。
主な意見・回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談側だけでなく、受け入れる事業所にも参加してもらい、話してもらいたい。具体的に説得力のある説明ができると考える。</li> <li>・受け入れる場があるかどうかの課題はあるが、どこから介入できるか、丁寧にみていく必要がある。</li> <li>・セルフプラン率の目標を何パーセントと考えているか。 →目標値の定めについて。今まで何パーセントで良いか、議論が続いてきたが、正解となる数字がつかめない。一番の問題点は、計画相談をよく知らずに、セルフのままとなっていることが、この課題で感じたところである。区として、計画に繋がる仕組みをまず構築していきたいと考えている。</li> <li>・福祉サービス事業所や親の会の場で説明が必要と考える。</li> <li>・他区のセルフプラン率で児童がゼロであったりする。他区の取組みをご存じであれば教えてほしい。 →他区の一例として、本庁舎内に計画相談の事業を委託している形態のところもある。</li> </ul>

	<p>ゼロという数値は統計上の取り方なので、どのようにカウントしているのか、お答えできかねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度知的障がいの方が、年を重ねたとき、どこにも繋がっていないことが問題になっている。入口で、細かく計画相談の説明をすることはもちろんだが、計画に繋がっていない方に対する説明の機会がなかったため、今回の取組は良い。</li> </ul>
今後の方向性	説明会に、計画相談支援事業所が関わるところがポイント。積極的に協力を求め、実現をめざす。意見を検討し、説明会に反映させる。

議題名	板橋キャンパス跡地活用プランについて
概要	板橋キャンパス跡地における福祉施設の整備について、事業の見直しを行うことになった旨の報告をした。
主な意見・回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に残念である。ただ、拠点について計画の中にも記載があったが、そこをどう捉えていくのか。タイムスケジュールも、分かった時点で報告いただきたい。</li> </ul> <p>→スケジュールについては、検討段階。見通しがついた時に報告する。</p> <p>→拠点の考え方は変わらないので、このような結果を踏まえ、赤塚ホームの受入れ体制等について、引き続き他課と連携し、協議を進めている。報告事項があった際は、部会においても報告する。</p>
今後の方向性	事業の見直しの経過、進捗状況等について、適宜報告の機会を設ける。

## 協議事項(1件)

議題名	地域生活支援拠点等における相談支援機能の充実について
概要	「(仮称) 安心支援プラン」の運用について、運用案、運用に向けた各スケジュール案について説明を行った。
主な意見・回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板橋区では、介護者の休息として赤塚ホームや短期入所が利用できるが、障がい当事者の休息等の意向で利用できる施設が無い。例えば病院を退院後に障がい当事者がまだ一人で生活するには不安がある、という理由では利用できないなど。</li> </ul> <p>→今回拠点で仕組みを作り、確立した時に、このようなことが課題となる。一つ一つクリアしていくしかない。医療連携については課題の一つとして認識している。</p>
今後の方向性	「(仮称) 安心支援プラン」の運用をスケジュールに沿ってすすめていく。

## その他(2件)

議題名	板橋区新型コロナウイルス感染症在宅要介護者ヘルパー派遣支援事業について
概要	・新型コロナウイルス感染症の対応として、活用できる制度の一つとして、上記事業の制度概要の説明、周知を行った。
主な意見・回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症限定なのか。 →限定の事業である。他の補助制度、国からの報酬を得ている場合等は、こちらの事業は対象外である。</li> <li>・既にヘルパーを利用している方が対象なのか。 →普段からヘルパーを利用している方でも、利用していない方でも、利用して構わない。</li> <li>・日ごろヘルパーと関わっていない人が、緊急事態の時に何の情報もない状態でヘルパーを探すのは酷だと思う。もう少し使いやすい事業をお願いしたい。</li> <li>・ヘルパーの上限時間はあるのか。また、プラン等の作成は必要なのか。 →一日の上限時間はない。期間の想定はしており、要介護者の濃厚接触者は14日以内を要綱で定めている。今後、実情に合わせて改正予定。</li> <li>・今まで実績はあるのか。 →実績は無い。昨年12月から実施し、ホームページに掲載している。</li> </ul>

議題名	障がい当事者部会への質問に対する回答
概要	令和3年度第1回相談支援部会(書面開催)で部会員の皆様から募った「障がい当事者部会の部会員への聞きたい内容」について、質問への意見を報告した。
主な意見	特に無し。